

わきあいあいとプレーする参加者



一 投に一喜一憂 笑顔溢れる市民ペタンク大会

市民三橋グラウンドで6月7日、市民ペタンク大会が開かれました。大会には40チーム140人が参加。参加者は相手チームの球を遠くに弾いたり、味方の球を弾いて目標の球に近づけたりしながら、わきあいあいとプレーしました。大会の結果は次のとおりです(敬称略)。優勝＝棚町東、準優勝＝東百町A、最高齢者賞＝古賀利弘(89歳、諸藤)、古賀ミツエ(89歳、諸藤)。優勝した棚町東のメンバーは「ペタンクが健康の秘訣。来年の大会も頑張りたい」と優勝を喜びました。

渡辺さんが見守る中、熱戦を繰り広げた参加者



元 日本代表監督の渡辺さん来場 第6回渡辺杯中学親善卓球大会

5月24日、第6回渡辺杯中学親善卓球大会が市民体育館でありました。県内外から男女51チーム466人が参加。日頃の練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。大会には卓球女子元日本代表監督でパリ五輪準優勝を成し遂げた大和町出身の渡辺武弘さんが初来場。「選手の皆さんが日の丸をつけて世界で活躍してくれることを期待しています」と話しました。大会の結果、市内から参加した大和中学校が女子団体戦で3位と健闘しました。

接戦を制し優勝を飾った花火



初 出場の「花火」が優勝 第49回市長杯争奪軟式野球大会

市長杯争奪軟式野球大会が5月12日、市民大和グラウンドで開催しました。大会には、市内やみやま市から8チームが参加。トーナメントで優勝を争いました。決勝戦は花火とスパイダーズが対戦。花火は前回大会優勝のダイナマイツと準優勝の柳川市役所を倒して決勝へ進みました。決勝戦は両チームの投手が好投し、1点を争う白熱した展開に。3対2で迎えた最終回、2死満塁のピンチを切りぬけた花火が勝利し、初出場で初優勝を飾りました。

松永市長(右)が見守る中、消防団員などが土のうを作成



市 民の安全な生活を守る 風水害に備えて600人が参加

毎年のように発生が懸念される風水害に備えるため、市は毎年橋本町の旧炭鉱跡地で防災訓練・水防演習を実施しています。5月18日に行った訓練は、天候不良により開催が危ぶまれましたが、規模を縮小して開催。消防団や自衛隊、警察など26団体から約600人が参加しました。自衛隊や警察による救出訓練、消防団員らによる水防演習などが行われ、松永市長は「防災意識の向上が確認できたことが大きな成果だった」と述べ、訓練を締めくくりました。



迫力の応援コンクールを繰り広げた生徒たち

雲龍のルーツを話す芝田山親方(左)と塩塚さん



横 綱雲龍久吉を後世に語り継ぐ 柳川相撲フェス開催

6月8日、雲龍の郷で市出身の第10代横綱「雲龍久吉」生誕200年を記念した「柳川相撲フェス」がありました。当日は芝田山親方(元横綱大乃国)と雲龍のご子孫の塩塚さんによる雲龍久吉の生涯を振り返るトークショーや秀ノ山親方(元大関琴奨菊)による出張相撲教室を開催。相撲教室に参加したやまと小3年の平川善翔さんは「力士は大きくて強かった。ご飯をいっぱい食べて大きくなりたい」と話しました。会場はちゃんこのふるまい、のど自慢大会など大いに盛り上がりしました。

ミニゲームで児童と交流する加藤選手



み んなの協力と応援が必要 バスケットを通して人と関わる大切さ学ぶ

6月9日、プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」の選手が、昭代第二小学校で人権・スポーツ教室を行いました。これは県とライジングによる人権啓発活動の一環です。ライジングの加藤寿一選手が「ボールにも思いやりをもってシュートしよう」など5、6年生49人とシュート競争やミニゲームで交流。その後の講話では「チームスポーツは味方との協力、思いやり、コミュニケーションが必要。学んだことを学校生活にも活かしてほしい」と人と関わる大切さを伝えました。



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】市企画課広報広聴係 ☎ 77・8425

完 全燃焼 今しかできない青春 伝習館高校大運動会

伝習館高校で6月7日、大運動会が行われました。同運動会は実行委員会を中心に生徒が創りあげる同校の伝統行事です。赤・青・白ブロックに分かれて入場行進やリレー、綱引き、ダンスなどの競技で優勝を目指して競い合いました。また、応援コンクールでは、各ブロックが工夫を凝らした圧巻の演舞を披露。観客から大きな拍手が送られました。実行委員長を務めた3年生の坂口百愛さんは「大運動会を通じて築いた絆や全力で頑張ることを大切にこれからも主役として輝いてください」と全校生徒581人にエールを送りました。